

抗菌・抗ウイルスガラス

# ウイルス クリーン®

NSG  
GROUP

身の回りにあるガラスの機能によって、菌やウイルスを減少させて、新しい生活様式を作りこむことができます。日本板硝子のウイルスクリーン®は、ガラス面に付着した細菌やウイルスの繁殖を銅系化合物と光触媒膜との相乗効果により抑制する抗菌・抗ウイルスガラス。店舗やオフィスをはじめ、学校や公共施設など飛沫感染や接触感染対策が必要なあらゆる用途に活躍の場が広がります。



ウイルスクリーン® 構造図

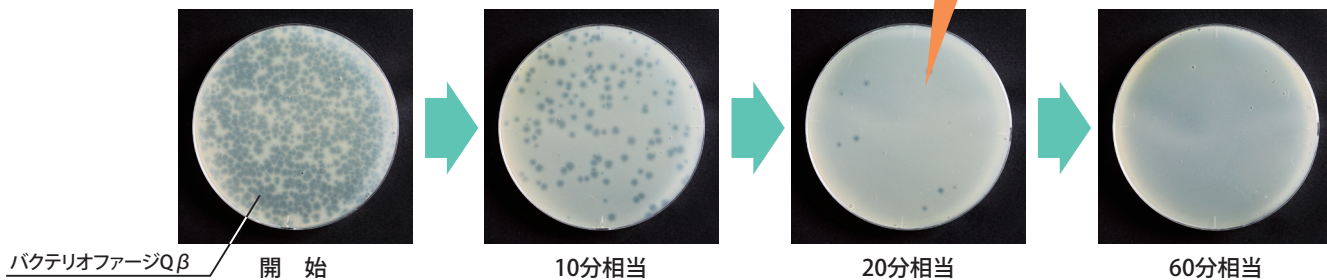
## ウイルスクリーン®の仕組み

ウイルスクリーン®は抗菌・抗ウイルス効果のある銅系化合物と、有機物を分解する光触媒膜との相乗効果により、ガラス面に付着するウイルスを蛍光灯やLED照明などの可視光によって99%以上低減します。

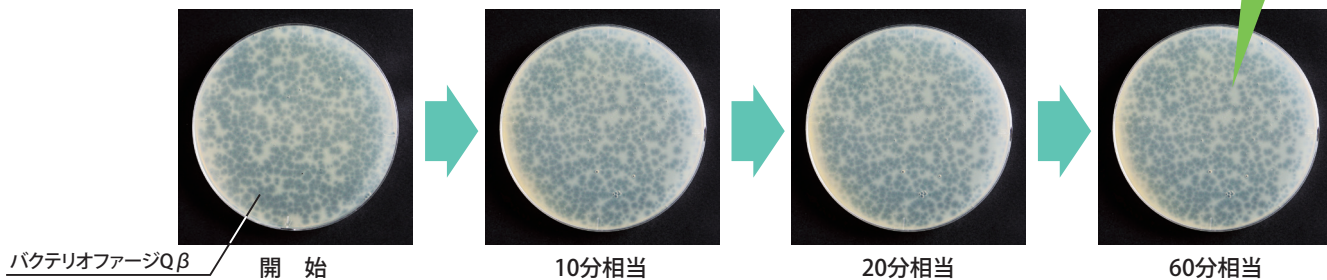
## 実験によるウイルス抑制効果

監修：東京大学 先端科学技術研究センター 橋本研究室

### ● ウイルスクリーン®



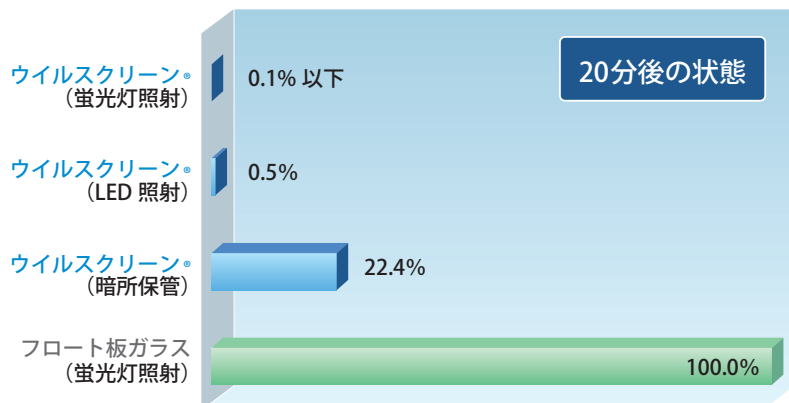
### ● フロート板ガラス



実験映像は当社ホームページで公開しています。  
<https://glass-wonderland.jp/movie/virusclean.html>

## ウイルス残量データ

### ● ウイルス残量データ



ウイルスクリーン®は蛍光灯やLED照明を照射することにより活性ウイルス濃度が減少、優れた抗ウイルス性を発揮することが確認されました。

※1 実際の評価では、バクテリオファージQβを使用  
※2 照射条件 蛍光灯・LED照射：1000 lx  
暗所保管：室内にて保管ケース内

# 抗菌・抗ウイルス効果が確認された一例

## 抗菌性

大腸菌、黄色ブドウ球菌、緑膿菌、レジオネラ、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）、多剤耐性緑膿菌（MDRP）、多剤耐性アシネトバクター（MDRA）など

## 抗ウイルス性

インフルエンザウイルス、ライノウイルス、ネコカリシウイルスなど

## 抗カビ性

黒麹かび、カンジタ・アルビカンスなど

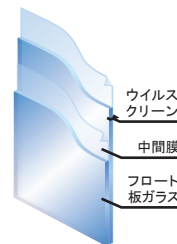
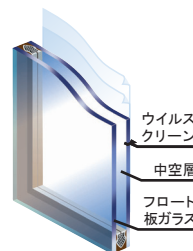
## 用途

- 店舗、オフィス、工場などでの飛沫感染や接触感染対策が必要な間仕切り用途に
- 不特定多数の方が出入りする学校、公共施設や宿泊施設の窓や間仕切り用途に
- 展示ケースや食品ケースのガラス扉などの用途に

## 仕様

- 高断熱性能をプラス（複層ガラスタイプ）

- 防災性能をプラス（合わせガラスタイプ）



## 品種表

製品名	呼び厚さ (ミリ)	最大寸法 (mm)	最小寸法 (mm)
ウイルスクリーン*	4	3,100×1,900	100×100

## 透明性の比較



ウイルスクリーン



フロート板ガラス

## 性能表

可視光	品種略号 構成品種	呼び厚さ (ミリ)	光学的性能							熱的性能					
			可視光			日射			紫外線 透過率 (%)	熱貫流率		日射			
			透過率 (%)	反射率 (%)	IN (%)	透過率 (%)	反射率 (%)	吸収率 (%)		冬 (W/m <sup>2</sup> K)	冬 (kcal/m <sup>2</sup> h°C)	夏 遮蔽係数	冬 遮蔽係数	夏 日射熱取得率	冬 日射熱取得率
ウイルスクリーン*	RSNFL4PC*	4	79.9	17.4	18.0	75.5	12.8	11.7	38.9	5.9	5.1	0.90	0.90	0.80	0.79
フロート板ガラス	FL4	4	89.6	8.2	8.2	84.1	7.6	8.3	68.7	5.9	5.1	0.96	0.96	0.85	0.84

## 設計・施工上のご注意

1. ウイルスクリーンは製造後の加工ができませんので、寸法や形状は正確にご発注ください。
2. 抗菌・抗ウイルス膜は、両面にコーティングすることはできません。開口部へご採用の場合はコーティング面を室内側にご使用ください。
3. 抗菌・抗ウイルス膜は、長時間水に触れている場合に、抗菌・抗ウイルス性能が低下する場合があります。施工前、施工中は雨水等がかからないように十分にご注意ください。
4. 高温・多湿、または水回りでの使用はお避けください。
5. ガラス施工時に一般的に使用されるシリコン系シーリング材は、難分解成分が滲みだすことにより、抗菌・抗ウイルス性能に影響を与える可能性があります。施工時にはシリル化アクリレートなどの低汚染タイプのシーリング材（例：セメダイン株式会社製「EXCEL II」）をご使用ください。ただし、外装用途でご使用される場合は、室外側ガラスのシーリング材はシリコン系シーリング材をご使用ください。

6. 施工時、コーティング面にプライマー、シリコン等のシーリング材などを付けないよう手袋、治工具、作業方法にご留意ください。

## 使用・メンテナンス上のご注意

1. ウイルスクリーンを清掃する場合は、乾いたきれいな布で乾拭きをしてください。汚れが落ちない場合は、きれいな水またはアルコールを含んだ布で拭き上げた後に乾拭きをしてください。
2. カッターナイフ等でコーティング面を擦るとキズが付きましますので、ご注意ください。また、スキージーのご使用もお避けください。
3. 砥粒を含んだ洗剤や酸、アルカリ度の強い洗剤のご使用はコーティング膜を傷める原因となりますので、お避けください。

日本板硝子株式会社

札幌 TEL(011)377-2860 仙台 TEL(022)359-8665 東京 TEL(03)6403-8501  
名古屋 TEL(052)238-1391 大阪 TEL(06)6222-7531 福岡 TEL(092)282-2010

日本板硝子お客様ダイヤル ☎ 0120-498-023 9:00~12:00, 13:00~17:30(土日祝休) FAX 0120-498-029

●本カタログは2020年8月現在の内容について掲載しています。●本カタログに記載されている性能、数値などは保証値ではありませんのでご了承ください。●製品の仕様等は、予告なく変更することがございますのでご了承ください。 2020・10/02